町内会便り
恵み野南
2022年 11月1日号
発行 恵み野南町内会
広報部連絡先(31)1596
南町内会ＨＰ

2022年の研修旅行を開催しました

10月13日、３年ぶりとなる研修旅行が行われ、参加してきました。今回のメインは白老町に２年前にオープンしたウポポイ（民族共生象徴空間）で、32名が参加しました。８時30分予定通りにウポポイに向けて出発。暖かい日差しの中を高速道路に入ったところで、早速自主防災会の天坂部長から地震が発生した場合の行動に関する○×式の問題が始まりました。第一問は､｢家で調理中に地震が発生。まず第一にやることは火を消すこと。〇か×か？」 皆さんお分かりですね。勿論×が正解。まずは身の安全を図ります。ガスコンロなどは自動消火機能が働きます。あわてて火を消そうとしてやけどを負わないように注意しましょう。他にも、エレベーターの中で地震が発生した場合は１階だけでなくすべてのフロアのボタンを押し、とにかく最初に止まった階で降りますなど、身近の出来事を題材にしたクイズ形式での学習でした。また、被災して非難する際に役立ったグッズを紹介するＶＴＲを見て、居眠りする間もなく白老に到着。

バス

研修旅行先の”ウポポイ”とは”（おおぜいで）歌うこと”を意味し、アイヌ文化を復興・発展させる拠点として、更には先住民族の尊厳を尊重し、差別のない社会を築く象徴として、2020年７月に白老町のポロト湖畔にできた国の施設です。敷地内には様々な施設があり、日本語・外国語の他、アイヌの言葉も表記されています。国立アイヌ民族博物館の２階にはアイヌの歴史や使用していた道具などの衣食住に関わる展示室があり、アイヌの世界観に触れることができます。まずは各自の自由見学。滞在時間の関係でザッと見て回りました。儀式で用いる道具や衣装等々、日々の生活ぶりがわかりました。

剣の踊り

入場時にもらったプログラムでコタン広場の文化解説プログラム「ウパシクマ」がちょうど始まるとわかり、早速行ってみました。コタンでの日々の暮らしについて民族衣装を着た男性が解説します。印象に残ったのは、食文化は”焼く”と”燻す”が基本で、日々保存食として作い長い冬に備えたとのこと。昔は靴も魚の皮で作ったものをはいていたなど、冬の厳しい季節を生き延びる知恵がありました。続いて、女性が唄を歌ったり、ムックリの演奏を聞かせてくれました。ムックリはＴＶで見たことはあったものの、実際の演奏は驚くほど豊かな音色でビックリしました。

最後に全員で伝統芸能を鑑賞するということで、コタンに造られたチセ（家）を大急ぎで見学。見学用のチセは大きく作ったとのことで、博物館側の２棟（中には入れない）が実際の大きさだとか。

体験交流ホールには整理券（全席指定）をもらって入場。｢シノッ｣というプログラムを鑑賞。残念ながら館内では写真撮影は禁止でしたが、踊りや歌に合わせて背景に素晴らしい映像が映し出され、特にムックリの演奏時には目と耳でアイヌの世界に浸ることができました。映像や音を伝えることができないのが残念。

昼食

今回の滞在時間は２時間くらいでしたが、プログラムを鑑賞するとアッという間に時間が過ぎていきます。これから訪れる方はもう少し余裕を持った方がよいかもしれません。

ウポポイを後にして、昼食会場に向かいます。昼食は中登別のわかさいも本舗にておこわ御膳をいただきました。 （裏面に続く）

秋の味覚である栗おこわにキノコと白菜たっぷりの鍋がついて、お腹も大満足。同店は高速インター東登別近くにあるので登別温泉の帰りに寄った方もいらっしゃるのではないでしょうか。

帰路の最初は、虎杖浜の大漁番屋にてたらこ詰め放題に挑戦。渡された瓶に何腹ものたらこを詰め込んで、夕飯のお供に。次は白老のたまごの里マザーズに寄って、たまごやお菓子のショッピング。おいしい卵をたくさん買った人もいたようです。最後は千歳のインディアン水車。ものすごい数の鮭が千歳川にひしめいていました。多くの方が「こんなにたくさんの鮭を見たのは初めて」とのこと。手づかみでも獲れそうなくらいの大群に本当にビックリでした。

ほぼ予定通りに恵み野に到着。あっという間の一日でした。厚生文化部のみなさん、準備、運営ありがとうございました。　　（広報部）

秋の町内一斉清掃を実施

10月9日（日）早朝、今年３回目の町内一斉清掃活動を実施しました。当日は早くも秋の到来を思わせる肌寒い朝でしたが、多くの皆様のご協力をいただき無事終了いたしました。お陰様で団地環状線、柏木中通りは、歩道の植樹枡の雑草除去、路側帯の泥等の除去により見違えるほどきれいになりました。会員の皆様には感謝申し上げます。

今回で今年の一斉清掃は終了となりましたが、年内にはイチョウの落葉清掃が予定されております。できるだけ多くの方々のご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。　　（環境衛生部、広報部）

植樹桝への紫陽花植え込み

町内一斉清掃の際に柏木中通りと団地環状線の植樹桝の清掃、雑草取りを行ってもらっていますが、柏木中通りの植樹桝は住宅に接していないこともあって雑草は伸び放題という状況でした。また過去に植えられた宿根草や球根類も雑草との区別がつかなくなっており、今年のガーデンフェスタを前にして恵庭市の管理部局に雑草ごと刈り取られてしまったという事も起きました。

このため、来年以降に向けて景観の美化と雑草取り作業の軽減を図ることを目的に柏木中通りの植樹桝に紫陽花を植えることにしました。10月9日にガーデンフェスタのために植えた一年草（マリーゴールドとブルーサルビア）を整理し、10月11日に紫陽花の苗21株を植え込みました。紫陽花はホンアジサイだと株が大きくなって管理が大変ですので、コンパクトにまとまる西洋紫陽花（サマークラッシュ）を植えています。今後、空いているスペースには宿根草苗を植える予定でいます。

また、団地環状線の植樹桝は近くにお住まいの会員皆様のご努力で花木類や宿根草、一年草が植えられて綺麗に保たれていますが、何も植えられていないところもあります。そのため、南３丁目の一部の植樹桝と柏木中通りとの交差点近くの植樹桝に、10月14日に紫陽花10株とギボウシを植えました。

植樹桝の管理は大変で、面する会員皆様にはご苦労をおかけしますが今後とも景観の美化にご協力頂ければ幸いです。また、植樹桝の植栽や管理に関してご不満や問題点、ご指摘等があれば環境衛生部までご連絡ください。　　（環境衛生部）

♠ 11月7日は暦の上では"立冬"。今冬は寒くなりそうですね。インフルエンザにも気をつけて！ ♠